

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況(平成22年4月～平成23年3月)

平成21年5月に公表しました「地域密着型金融への取組み(平成21年～平成23年度)」における、平成22年度の取組み結果並びに平成23年度の数値目標について、地域の皆さまに報告いたします。

同計画においては、

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

の3項目について重点的に取組んでまいりました。

1. 数値目標に対する実績

平成22年度は下記の5項目を数値目標として設定し取組んだ結果、5項目のうち4項目について目標を達成しました。

目 標 項 目	数値目標	実 績	達成率	
			計画比	達成率
創業・新事業支援	20先	21先	1先	105.0%
経営改善・再生支援(ランクアップ)	5先	3先	2先	60.0%
農業者向貸出	170件	179件	9件	105.2%
販路支援	50件	52件	2件	104.0%
地域活性化資金	5件	5件	0件	100.0%

2. 個別の取組みに対する進捗状況

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

取組み項目	取組方針及び目標(22年度数値目標)	進捗状況(22年4月～23年3月)
(1) 創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所、商工会、政府系金融機関等との連携強化を図り、創業・新事業支援に結びつく情報提供の推進強化。 ・身近な創業、新事業展開に応じた適切な支援の強化。創業等関連保証、中小企業新事業活動促進法等の活用。 <p>創業・新事業支援目標: 20先</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに創業等を希望されているお客様の支援を図るべく、営業推進係に対し創業・新事業支援に関する庫内研修会を実施しました。 ・「創業関連保証」「中小企業新事業活動促進法」等の活用により、創業・新事業支援に積極的に取組みました。 <p>取組み実績: 21先 286百万円 内訳: 創業支援 15先(18件)201百万円 新事業支援 6先(8件)84百万円</p>
(2) 経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援取組み先を選定し、専担部署と営業店が一体となり、定期的かつ継続的なモニタリングにより、早期に問題点の抽出、改善策の構築を図る。 ・経営改善支援取組み先の取組み事例について、報告会を実施し、経営改善ノウハウの蓄積を図る。 ・庫内研修等を実施し、庫内全体の経営改善支援能力の向上を図る。 <p>ランクアップ目標: 5先</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援対象先として34先をリストアップし、本部、営業店が連携し経営改善指導、再生支援に取組み、3先がランクアップしましたが、目標の5先には至りませんでした。 ・外部講師による経営改善支援取組をテーマとした研修会を実施しました。
(3) 事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会並びに外部コンサルタントを活用した再生支援の実施。早期事業再生に向けた取組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会で再生支援計画の認定を受けた5先について、再生計画に基づく支援に取組んでおります。
(4) 事業承継支援	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関(しんきんキャピタル㈱、TKC)との業務提携、による事業承継支援。 ・事業承継関係情報等の組織的な収集、還元。 ・事業支援業務の営業店、取引先に対する周知。 ・事業承継セミナーの開催、経営塾の開講。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継支援については、情報誌「今日から始める事業承継対策」の配布を行い、お取引先のニーズを把握しながら取組んでおります。22年度は、M&Aの実績が1件ありました。 ・経営塾についてはニーズ調査、運営スキームの検討等を実施し、開講に向けて準備しております。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

取組み項目	取組方針及び目標(数値目標)	進捗状況(22年4月～23年3月)
(1) 目利き機能向上をはじめ事業価値を見極める融資(不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底)	<ul style="list-style-type: none"> ・金庫内外の研修、勉強会等を活用し、目利き力の養成を図るとともに、与信先の実態把握を重視した審査体制を構築して、事業価値を見極める融資を推進する。 ・「会計参与制度」や「中小企業の会計に関する指針」の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修による人材の育成として、業界団体主催の目利き研修に7名を派遣しました。 ・庫内研修による人材育成として店長および融資担当者を対象に、庫内研修会を実施(延べ7回)しました。また、営業推進係55名に対し、目利き審査・実態把握・財務分析を主とした研修を実施(延べ3回)し、目利き力の養成を図っております。 ・「会計参与制度」を導入している企業や「中小企業の会計に関する指針の適用に関するチェックリスト」の添付により、貸出金利の優遇の取り扱いを開始しました。
(2) 中小企業に適した資金供給方法の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・流動資産担保融資保証、信金中金の設備担保信用補完制度(しんきんMEサポート)の活用。 ・農業関係資金に対して、ABLや日本政策金融公庫の農業者向け融資の証券化支援業務(CDS)の活用。補助事業、制度資金の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業関係資金について、引続き「アグリサポートローン」を推進するとともに、千葉県農業信用基金協会の債務保証枠を拡大するなど、積極的に取り組んでおります。また農業者の資金ニーズに対して、農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)や動産担保の活用等を図りながら対応しています。 ・営業推進係(42名)に対して、農業者向け貸出の研修会を実施しました。 ・流動資産担保融資保証、信金中金の設備担保信用補完制度(しんきんMEサポート)の取り扱いはありませんでした。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

取組み項目	取組方針及び目標(数値目標)	進捗状況(22年4月～23年3月)
(1) 地域の面的再生	<ul style="list-style-type: none"> ・佐原広域交流拠点PFI事業への参画。 ・農業・産業観光による地域活性化への取組みに対して、地域との連携強化及び金融支援機能の強化。 ・ビジネス・マッチングや信金中金を活用した販路支援の取組み強化。 ・地域活性化資金(伝統行事に関連する資金等)の推進。 <p>農業者向貸出融資目標: 170件 販路支援目標: 50件 地域活性化資金目標: 5件</p> <p>地域活性化資金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伝統」: 伝統行事の継続に関する資金 ・「景勝」: 重要伝統的建造物群保存地区および景観形成地区内の住宅資金 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐原広域交流拠点PFI事業「水の郷さわら」に対し、地銀2行と協調融資を実施し、地域の観光事業に対し金融面からの支援を行っております。 ・「食の相談会」(ビジネスマッチングフェア・22年10月)を県内の5つの信用金庫で共同開催し、販路拡大を希望する生産者と新たな仕入れ先を探しているスーパーのビジネス・マッチングに取組みました。 ・全国信用金庫協会主催の「観光事業活性化セミナー」(22年11月)において、佐原地区の観光事業活性化に向けた取組みを全国の信用金庫に紹介しました。 ・「高校生・高専生ビジネスアイデアコンテスト」(23年1月)において、当金庫推薦の千葉萌陽高校の生徒が、佐原の観光事業活性化をテーマとしたビジネスプランを発表し、全国大会に出場しました。 <p>農業者向貸出の実績 179件 869百万円 販路支援の実績 52件 地域活性化資金「伝統」「景勝」の実績 5件 40百万円</p>
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足度調査等の実施により、ニーズの把握に努め、商品開発や業務改善に活かしてお客様の利便性向上を図る。 ・各種相談会の開催。 ・振り込め詐欺への対応強化。 ・情報提供機能強化。 ・営業活動を通しての多重債務者に対する予防、啓蒙活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足度調査等でお客様から寄せられたご意見・ご要望等をもとに、業務・サービスの改善に取組み22年度は通帳繰越機能及び視覚障害者用ハンドセットホン付ATMを9台設置しました。 ・生体認証ICキャッシュカードを22年8月より発行し、安全性の強化を図りました。 ・20年7月より継続して、顧問弁護士による法律相談会を毎月1回(原則第3水曜日)実施しております。(22年度相談者75名)

3. 経営改善支援の取組み実績(平成22年4月～平成23年3月)

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先	うち再生 計画を策定した 先数			経営改善支援 取組み率 = / A	ランクアップ率 = /	再生計画策定率 = /	
			のうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数	のうち期末 に債務者区分 が変化しなか った先数	のうち再生 計画を策定した 先数				
正常先	1,731	4		2	0	0.2%		0.0%	
要注意先	うちその他要注意先	270	29	3	23	4	10.7%	10.3%	13.8%
	うち要管理先	4							
破綻懸念先	40	1	0	1	0	2.5%	0%	0.0%	
実質破綻先	43								
破綻先	13								
小計(～の計)	370	30	3	24	4	8.1%	10.0%	13.3%	
合計	2,101	34	3	26	4	1.6%	8.8%	11.8%	

・期初債務者数及び債務者区分は22年4月当初時点で整理したものです。

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでおりません。

・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はには含めるもののに含めていません。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はに含めています。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。

・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。

・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「当金庫の再生計画策定先」

4. 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み状況

当金庫は、中小企業金融の円滑化を図ることにより中小企業の一層の発展・育成を目指して、個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資に取り組んでおります。

取組み状況は、以下のとおりです。

(1) 期中実績(平成22年度中)

(単位:百万円)

	流動資産担保融資	スコアリングモデルを活用した融資					緊急保証制度	コベナンツ (財務制限条項) を活用した融資	各手法実績の合計
		アグリサポートローン	ステップ・500	千葉県信用保証協会	茨城県信用保証協会	小計			
件数	0	105	4	10	1	120	86	0	206
金額	0	253	15	161	30	459	957	0	1,416

(2) 期末残高(平成22年度末)

(単位:百万円)

	流動資産担保融資	スコアリングモデルを活用した融資					緊急保証制度	コベナンツ (財務制限条項) を活用した融資	各手法実績の合計
		アグリサポートローン	ステップ・500	千葉県信用保証協会	茨城県信用保証協会	小計			
件数	0	305	59	184	1	549	252	6	807
金額	0	513	98	1,109	30	1,750	2,321	33	4,104

5. 平成23年度数値目標

項目	目標	
創業・新事業支援	20先	
経営支援	経営改善計画策定支援	5先
	改善支援実施によるランクアップ先	5先
農業者向貸出	170件	
販路支援	100件	
地域活性化資金(伝統・景勝)	5件	